

20年

映画会社に勤めた
著者だからこそ描けた
働く全ての人に捧げる

胸アツ小説!



キネマト
グラフィカ
古内 一絵 創元文芸文庫



書店員さんたちから
共感の声続々!

映画の世界に生きてきた著者だから書けたノスタルジックな匂いのする傑作。エンドロールが流れるなか6人のあの頃の自分と今の自分が重なる。(中略) 読み終わり、目を閉じると、過去の自分が現れた。目を逸らしてはいけない。自分を見つめ直そう。

ジュンク堂書店 滋賀草津店 山中真理さん

映画会社の同期6人。仕事に対する考え方や自分との向き合い方がそれぞれで、その中に自分と重なる悩みもあり共感せずにはいられません。仕事や将来に悩んでいる人にそっと渡したい本です。

未来屋書店 碑文谷店 福原夏菜美さん

ままならめ人生は誰にとっても一度きりの舞台。そして筋書きのないドラマでもある。あらゆる感情とかけがえのない瞬間の交錯に、全身がグッと引き寄せられ、心が大きく揺り動かされた。人肌の温もりと大人の風味が楽しめる最高の一冊だ!

ブックジャーナリスト 内田剛さん